

特別展

「自然のこえ命のかたち
—カナダ先住民の生みだす美」

会期 二月八日(火)まで
会場 特別展示場
※研究者によるギャラリートークを左記の土・日曜日および祝日におこないます。
実施日 一月一日、二日、七日、八日、五日、三日、一日、二時三十分～四時、一五時～一五時三十分
■関連イベント
「北西海岸先住民の権じつくり」
実施日 一月一日(日)
「イロイの仮面じつくり」
実施日 一月八日(日)
「北西海岸先住民の木箱じつくり」
実施日 一月五日(日)

時間 三時～五時三十分
会場 国立民族学博物館内
定員 二〇名(申し込み先着順)
実費 二五〇円
参加申し込み方法
タイトル・実施日・参加人数・参加者氏名・年齢・代表者の郵便番号と住所、電話またはFAX番号を書いて左記「ワークショップ(カナダ)係」までお申し込みください。
なお、小学校三年生以下の方は保護者同伴でご参加ください。
E-mail: workshop@idc.minpaku.ac.jp
FAX 〇六六八七八七五三三

「点字の考案者ルイ・ブライユ生誕二〇〇年記念…点天展…」
会期 一月二四日(火)まで
会場 常設展示場内
■関連イベント
① 石創画ワークショップ—石で絵を描こう!
実施日 一月三日(土)

◆公開フォーラム
「世界の博物館二〇〇九」
実施日 一月三日(火)
時間 一三時～一七時一五分
会場 第五セミナー室
定員 七〇名(申し込み先着順)
参加費 無料
お問い合わせ
「博物館学集中コース」事務局
電話 〇六六八七八八二五〇
(平日九時～一七時)

◆総合研究大学院大学 文化科学研究科 開設二十周年記念 学術交流フォーラム
「極限の文化—人はどこで生きていくか生きられるか」
「ポスター発表」
揭示期間 一月二日(木)～二日(火)
会場 本館一階エントランス
※発表者による説明をおこないます。
実施日 一月七日(土)
時間 一五時三十分～一七時
「学術交流フォーラム」
実施日 一月八日(日)
時間 一〇時三十分～一六時三十分(予定)
会場 第五セミナー室
定員 九〇名(当日先着順)
参加費 無料
お問い合わせ
研究協力課研究協力係(大学院担当)
電話 〇六六八七八八三三六
(平日九時～一七時)

企画展

「点字の考案者ルイ・ブライユ生誕二〇〇年記念…点天展…」

◆公開フォーラム
「世界の博物館二〇〇九」

◆総合研究大学院大学 文化科学研究科 開設二十周年記念 学術交流フォーラム

刊行物紹介

■中牧弘允 森茂岳雄 多田孝志 編著
『学校と博物館でつくる国際理解教育』
水声社



定価: 2,940円(税込)
学校・博物館・学会の3者が連携・協働することでのような学びが創造できるのか。国際理解の資料の宝庫である国立民族学博物館を舞台にした総合的な学習の時間や社会科の授業実践、教員研修の実例を紹介し、そこから浮かび上がる今後の課題について検討する。

■山本紀夫 編
『ドメスティケーション—その民族生物学的研究—』
(国立民族博物館調査報告No.84)

■波平恵美子 編
『健康・医療・身体・生殖に関する医療人類学の応用的研究』
(国立民族博物館調査報告No.85)

参加申し込み方法
タイトル・実施日・参加人数・参加者氏名・年齢・代表者の電話番号を書いて左記「ワークショップ(点天展)係」までお申し込みください。
なお、①・②は未就学児、③は小学一年生以下の方は保護者同伴でご参加ください。
E-mail: workshop@idc.minpaku.ac.jp
特別展・企画展 関連イベントのお問い合わせ

◆みんなくワールドシネマ
そして私たちは帰る
実施日 一月二二日(土)
時間 一三時三十分～一六時(開場二時)
会場 講堂
定員 四五〇名(整理番号順)
参加費 無料
*当日一〇時より会場入口にて整理券配布。
お問い合わせ
広報企画室企画連携係
電話 〇六六八七八八二二〇
(平日九時～一七時)

●音楽展示・言語展示場が改修のため閉鎖になります
期間 一月二六日(木)～平成二三年三月一六日(火)まで(予定)
●無料観覧日のお知らせ
一月三日(火・祝)の文化の日は、常設展・特別展を無料で観覧いただけます。ただし、自然文化園を通行される場合は、入園料が必要です。
*詳細については、みんなくホームページをご覧ください。

みんなくゼミナール

会場 国立民族学博物館 講堂
時間 13:30～15:00 (13:00開場)
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料

展示場をご覧になる方は、観覧料が必要です。

第377回 10月17日(土)
【総合研究大学院大学関連】
(文化科学研究科開設20周年記念)

極限の文化—人はどこで生きていくか 生きられるか—

講師 廣川 和花(大阪大学総合学術博物館助教・大阪大学大学院助教)

池谷 和信・松山 利夫・近藤 雅樹(以上民博教授・総合研究大学院大学教授)

飢餓、傷病、争乱…。人類は常にさまざまな極限状況に直面してきました。こうした危機を克服するために獲得し、生活習慣となって受け継がれてきたものが諸民族社会の文化です。食糧獲得加工の知識技術、呪術行為などの伝承や、それらの総体から創造された民族固有の神話・伝説に基づく世界像です。総合研究大学院大学文化科学研究科の開設20周年を記念して、文化誕生の秘密を探ります。

第378回 11月21日(土)
「変身」の美学—イヌイットと北西海岸先住民のアートの世界」

講師 大村敬一(大阪大学大学院准教授)

イヌイットと北西海岸先住民のアートには、「変身」をテーマにするものが多くあります。動物の身体が分割・変形されたり、人間が動物に、動物が人間に変身したりします。この講演では、イヌイットと北西海岸先住民のアートにあらわれる「変身」の表象を紹介しながら読み解き、その「変身」というテーマが彼らの生活の中でもつ哲学的な意味を解き明かします。



「人間のように振る舞うカリブー」
(国立民族学博物館蔵)

友の会

友の会講演会 会場●国立民族学博物館 第5セミナー室
定員●96名(当日先着順、会員証をご提示ください)

第377回 11月7日(土)

時間●14:00～15:30(13:30開場)
人類学者×人類学者(5)

泉靖一と戦後日本の人類学研究のあゆみ—南米研究を中心に

講師 関雄二(研究戦略センター教授)

東大に日本初の人類学講座をひらいた泉靖一。朝鮮半島での民族調査から始まり、アンデスの考古学調査を率いた泉は、晩年には民博の設立にも携わります。彼がおこなった調査や研究をたどることで、戦後日本の人類学研究のあゆみをお話します。

第378回 12月5日(土)

時間●14:00～15:30(13:30開場)
人類学者×人類学者(6)

鳥居龍蔵、鹿野忠雄、馬淵東一—台湾に魅せられた人類学徒たち

講師 野林厚志(文化資源研究センター准教授)

日本の人類学者が海外ではじめて本格的なフィールド調査を行ったのが台湾でした。当時、未開の民と考えられていたオーストロネシア系の原住民族に向き合った3人の研究者の足跡をたどりながら、戦前日本の人類学のモードを探ります。

国立民族学博物館 友の会

電話 06-6877-8893

ファックス 06-6878-3716

電話でのお問い合わせは月曜～金曜日9時から17時まで
をお願いします。

http://www.senri-f.or.jp/

E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

ミュージアム・ショップ

特別展解説書

「自然のこえ 命のかたち—カナダ先住民の生みだす美」

広大な土地に多様な自然環境がひろがるカナダ。そこに暮らす先住民たちの



「自然のこえ 命のかたち—カナダ先住民の生みだす美」

編集:国立民族学博物館 発行:昭和堂
B5変形版108頁(カラー66頁)

定価:1,995円(友の会会員価格1,796円)

発送手数料:400円

の、生活用具や儀礼の道具にみる造形美、版画や石彫などの芸術作品を紹介する特別展の解説書です。

カナダ文明博物館の協力のもと本邦初公開となった貴重な資料の数々を、カラーページをふんだんに用いて掲載しています。この機会にぜひ手に取ってご覧ください。通信販売もいたします。

国立民族学博物館 ミュージアム・ショップ

電話 06-6876-3112

ファックス 06-6876-0875

水曜日定休

ウェブサイトもご覧ください。

オンラインショップ「World Wide Bazaar」

http://www.senri-f.or.jp/shop/

E-mail shop@senri-f.or.jp